

事例9

生活科:たのしいあきいっぱい「いっしょにあそぼう」

関連する10の姿 ②自立心 ③協同性 ⑤社会生活との関わり

参考 東京書籍「あたらしいせいかつ上 教師用指導書授業展開編」いっしょにあそぼう

実施時期

1学年11月(21時間)

思いや願いをもつ

試す・見通す・工夫する

☆活動や体験をする

☆感じる・考える

☆表現する・行為する

振り返る



どんぐりがたくさんなっているよ。楽しい遊びができそうだよ。

「秋みつけ」で見つけた秋の自然物をつかって、園での経験からどんなことをしたいか話し合っている。



どんぐりめいろをつくったよ。年長さんと遊びたいな。



ペルを作りたいな。できたらみんなで遊びたいな。

2年生は？
年長さんは？



なかなか入らない。難しいよ。ルールを工夫したらどう？

年長児との交流会に向け、ルールや遊び方を工夫するなど相手意識をもって準備を進めている。

★児童の思いをもとに、活動のめあてや流れをつくり、プログラムなどで掲示し、前回の振り返りを生かした活動につなげていく。

○2年生とのおもちゃ交流の経験や、1年生のクラス同士の秋遊び交流の気付きなど、児童の体験をもとに遊びや遊び方を工夫できるようにする。

⑤社会生活との関わり
幼児との関わり方に気付き、その気持ちを考えて関わり喜んでもらうことでさらに親しみを持ち、意欲的に活動しようとしている。

「全部楽しかった」って言いってくれたよ。やった！



ようこそ。いっぱい遊んでね。楽しいよ。



こうするよ。シールもあるからちょっと待ってね。

年長児が分かりやすいように、話し方や説明の仕方を工夫している。

②自立心
主体的に活動に向かう中で、自分がしなければいけないことに気付き、考えたり工夫したりしながら取り組む充実感を感じ始めている。

○保育者と事前に活動のねらいや流れを打ち合わせ、幼児が安心して活動を楽しめるように、手遊びや評価への協力を依頼し分担する。

年長さんとの交流を通して自分の成長に気付いている。



相手の立場に立って、してもらうとうれしいことを考え、行動している。

③協同性
友達と考えた遊びで幼児を楽しませようという共通の目的の実現に向けて、自分ができることや友達のためにあげたいことを考え、進んで協力している。



みんなでお見送りして言おうよ。「また来てね！」

めざす子供の姿

遊びや学びのプロセス(10の姿)

○先生の関わり

★環境づくり

※架け橋期のカリキュラム参照

児童の姿	友達と季節の自然に親しみ、自然物を使って遊ぶことや園児との交流を楽しんでいる。	
目標 教科	・幼児の気持ちを想像しながら友達と工夫してつくった、身近な自然物のおもちゃで、園児が楽しく遊ぶことができたことに満足感を持ち、これからも目標をもって生活を楽しくしようとするようにする。 ☆生活(18・19/21時間)	
評価規準 主に関わる 10の姿	・友達と遊びを工夫して、園児に楽しんでもらう面白さを実感し、これからは遊びを創り出そうとしている。生活【態度】 ②自立心 ③協同性 ⑤社会生活との関わり	
展開・主な学習活動 児童や担任の発言	○指導上の留意点 *接続期に応じた指導の工夫	教科【資質・能力】 評価規準(評価方法)
思いや願いを持つ 1 園児を迎え、始めの会をする。	*園訪問した交流を振り返って思いを持ち、目標や遊びをつくり活動する。 *事前にクラス同士で遊び、楽しませるための工夫に気付けるようにする。	
久しぶりだね。今日も楽しいよ。	○ペアでの案内や、始めの会の手遊びや流れの説明で、園児が安心して楽しめるよう手助ける。 ・児童が進行する始めの会でめあてを確認し、児童が意識して活動したり、認められたりできるようにする ・アイスブレイクは保育者が幼児の好きな手遊びを行う	
ねんちょうさんも1年生も えがおでなかよくなる たのしいこうりゅうかいにしよう	*活動の流れや名前を視覚化したり、活動時間を音楽で知らせたりする。	
活動や体験をする 2 自分のコーナーから園児を楽しませる。	○目標を達成するために自分で決めた世話をする。 ・私のコーナーで遊んだら好きなシールをあげるよ ・次のお店はくじ引きで決めるから引いてね ・並んで待ってもらうから、そっちを用意してね	
こうやって遊ぶんだよ。コツは・・・。	*幼児の立場に立って手助けするなど、意欲的な児童を認め声をかける。	
うまいね！すごいなあ。。	○活動をペアで振り返った後、全体での発表や担任相互の評価も行い、楽しかった思いを共有する。 ・一緒に遊べて楽しかった ・年長さんがいっぱい来てくれてうれしかった ・全部楽しかった	
感じる・考える 3 終わりの会で振り返る。	*担任が児童・幼児を相互に評価し、活動の満足感がもてるようにする。	
楽しい遊びをいっぱい教えてくれてありがとう。園で真似して遊んでみます。	○その場でアイデアを出し合ってお見送りする。 ・一日入学があるから、「また来てね」って言おう ・「いっせーの」で、一緒に手を振って言おうよ	
表現する・行為する 4 園児の見送りをする。	○児童の思いに任せることで、さらに次の交流への見通しがもてるようにする。	
	生活【態度】 季節の遊びのよさや友達と遊びをつくる楽しさなど、気付いたことをカードに絵や言葉で表現している。 (作品、行動観察)	
	*児童の活動への思いを、最後まで発揮できるようにする。	